

2023年度 第2四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	有機EL材料(輸送材料、発光材料、表面保護材料)、PCR診断キット用材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	先端材料	カラーフィルター用染料、近赤外吸収材料、有機太陽電池材料
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬・農業資材	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2022年度	2023年度	前年同期比
売 上 高	20,579	20,451	▲ 127
営 業 利 益	1,963	1,245	▲ 717
経 常 利 益	2,526	1,814	▲ 711
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,398	909	▲ 488

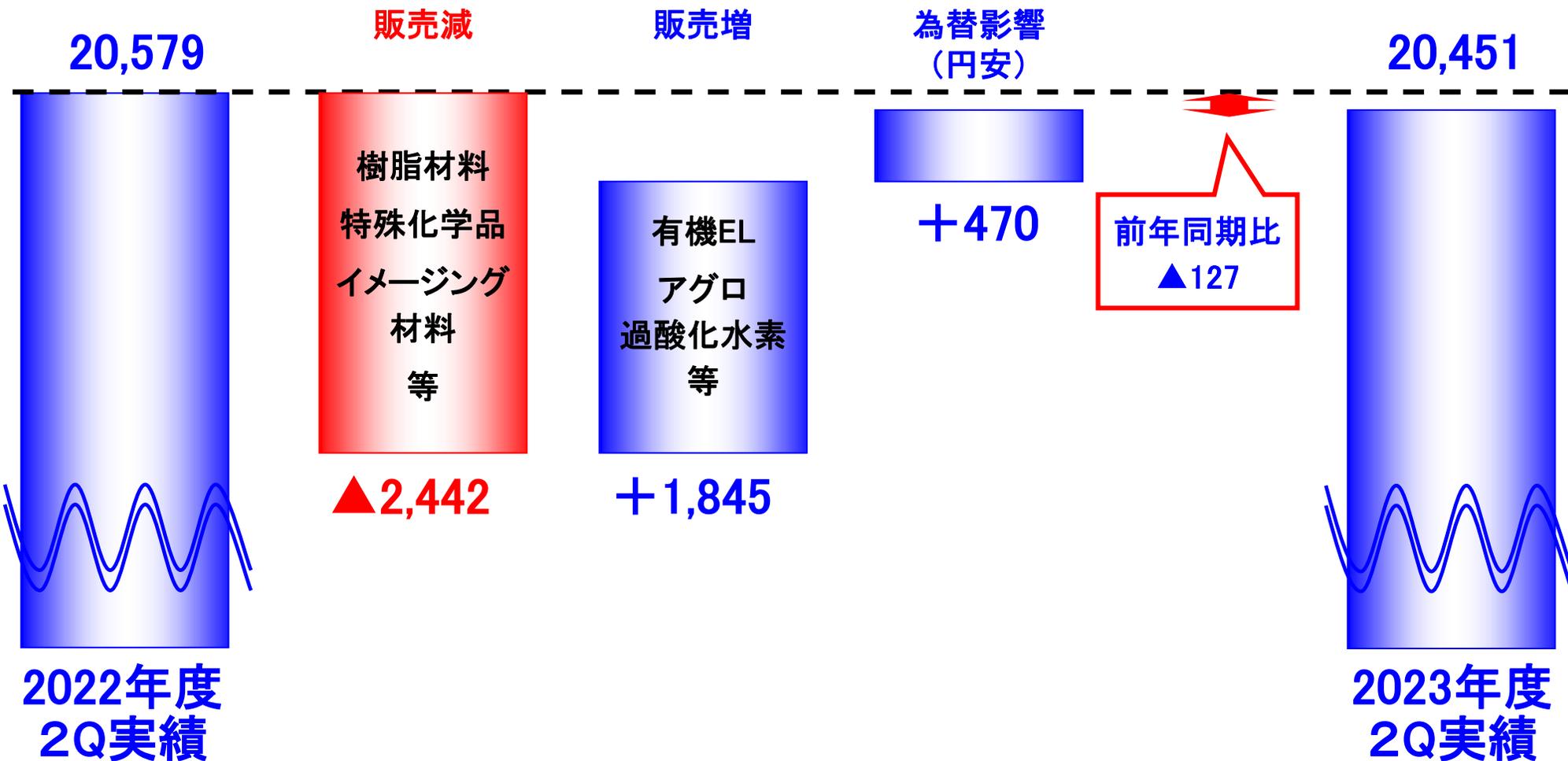
為替レート

\$=135.31円
W=0.1029円

\$=142.61円
W=0.1080円

\$=ドル
W=韓国ウォン

（単位：百万円）



- ・ **売上高**は、機能性色素、基礎化学品、アグロサイエンスの増加および、円安の効果があったものの、機能性樹脂、物流関連の減少により、127百万円の**減収**
- ・ **営業利益**は、売上高の減少および売上原価の増加により、717百万円の**減益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の減少により、711百万円の**減益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の減少により、488百万円の**減益**

(単位:億円)

科目	2023年 3月末	2023年 9月末	増 減
(流動資産)	365	384	+18
現預金	104	145	+40
売上債権	129	106	▲23
棚卸資産	120	122	+2
その他	11	10	▲0
(固定資産)	354	390	+35
有形・無形 固定資産	239	272	+32
投資有価証券	85	95	+10
その他	29	21	▲7
合計	720	774	+54

科目	2023年 3月末	2023年 9月末	増 減
(負債)	221	232	+11
仕入債務	46	48	+2
有利子負債	105	100	▲5
その他	70	84	+14
(純資産)	498	542	+43
資本金	111	111	-
資本剰余金	79	79	▲0
利益剰余金	186	193	+7
その他	121	156	+35
合計	720	774	+54

第2四半期累計

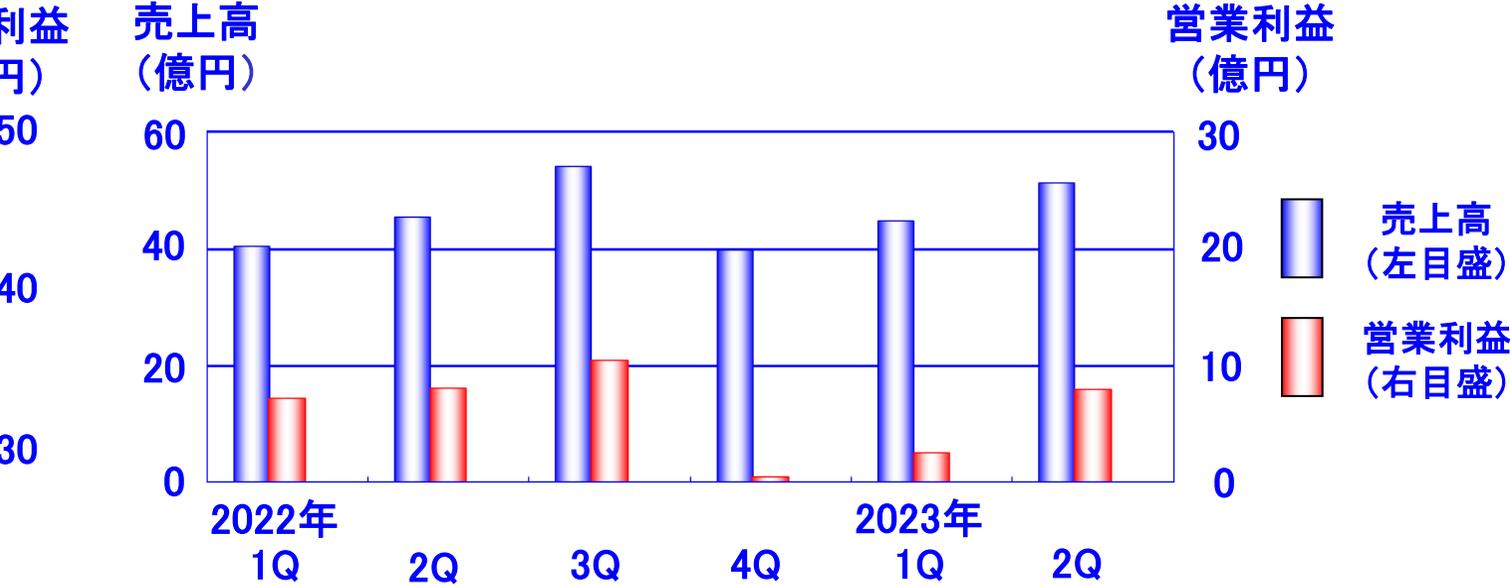
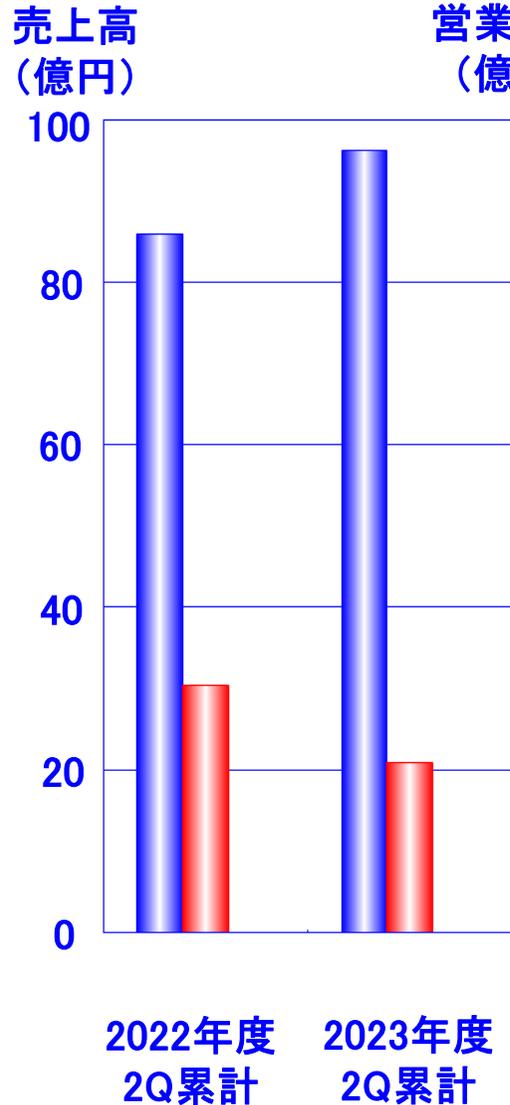
単位：百万円
表示：百万円未満切捨

セグメント	2022年度	2023年度	前年同期比
機能性色素	8,593	9,622	+ 1,029
機能性樹脂	5,708	4,086	▲ 1,621
基礎化学品	3,473	3,884	+ 410
アグロサイエンス	1,765	1,999	+ 233
物流関連	1,001	783	▲ 218
その他	37	75	+ 38
合計	20,579	20,451	▲ 127

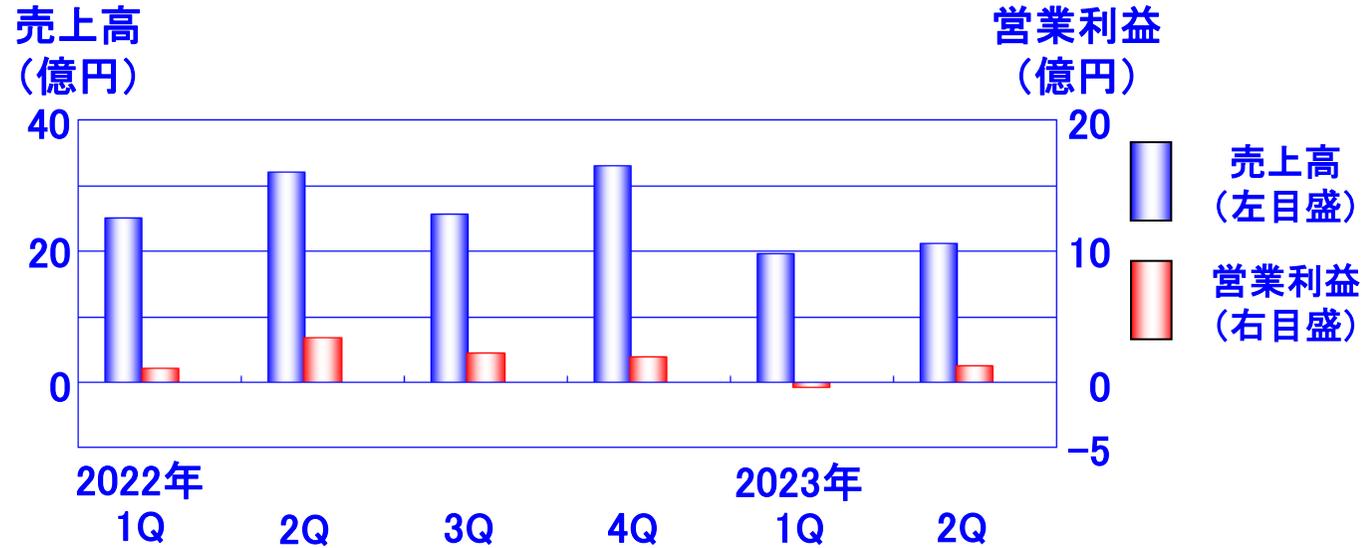
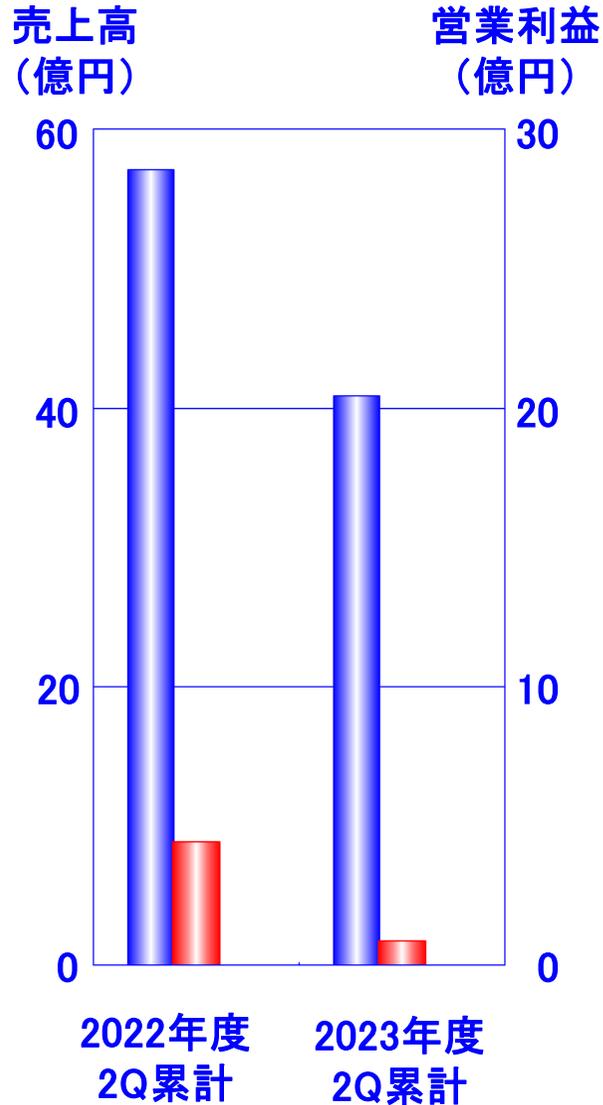
第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

セグメント	2022年度	2023年度	前年同期比
機能性色素	1,520	1,046	▲ 474
機能性樹脂	443	87	▲ 356
基礎化学品	▲ 322	▲ 57	+ 264
アグロサイエンス	145	61	▲ 84
物流関連	170	104	▲ 65
その他	5	3	▲ 2
合計	1,963	1,245	▲ 717

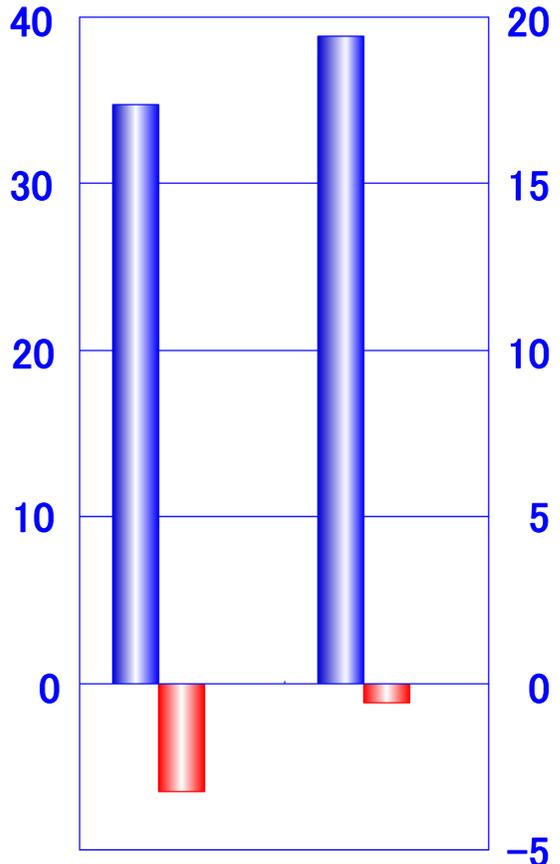


有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> 当社の子会社におけるPCR診断キット用材料の、アフターコロナでの需要の大幅減少が見られたが、スマートフォン向けを中心とするディスプレイ分野において、有機EL材料の需要が引き続き増加し、有機EL材料事業全体としては大幅な増収 	↗
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> 繊維向け染料の海外での需要が回復し、アルミ着色用染料もスマートフォン向けを中心に販売が増加したこと等から、大幅な増収 天然色素においても食品向けに加え、工業製品での採用等により増加し、前年同期並み 	→
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> プリンター向け材料の需要が海外を中心に低迷しており、大幅な減収 	↘



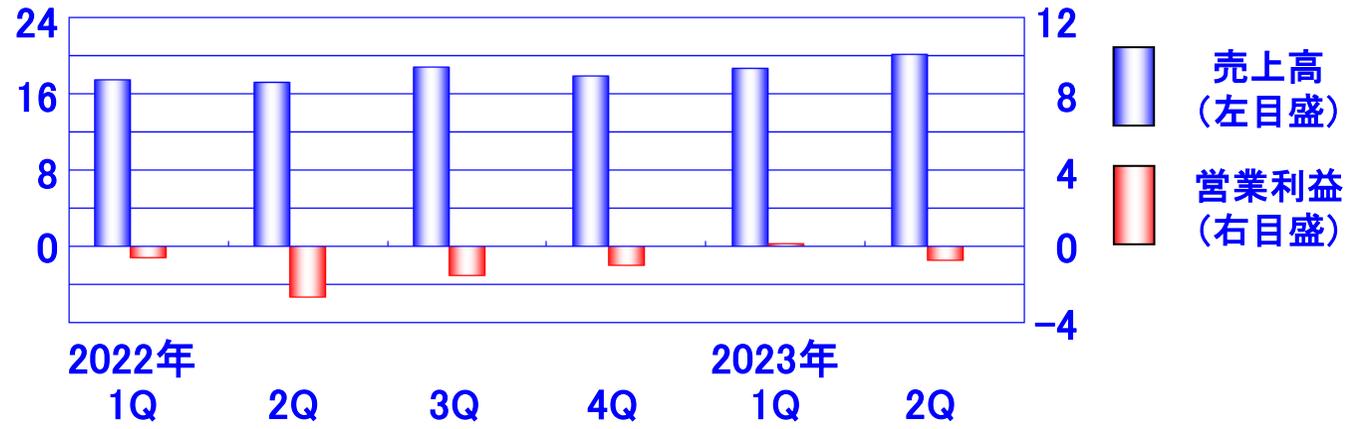
樹脂材料	・海外向けを主とするウレタン材料の在庫調整の影響を受け、大幅な減収	↓
特殊化学品	・医薬向け及び剥離剤向けが低調に推移	↓
建築材料	・材料販売を中心に需要がやや回復し増収	↑

売上高 (億円) 営業利益 (億円)



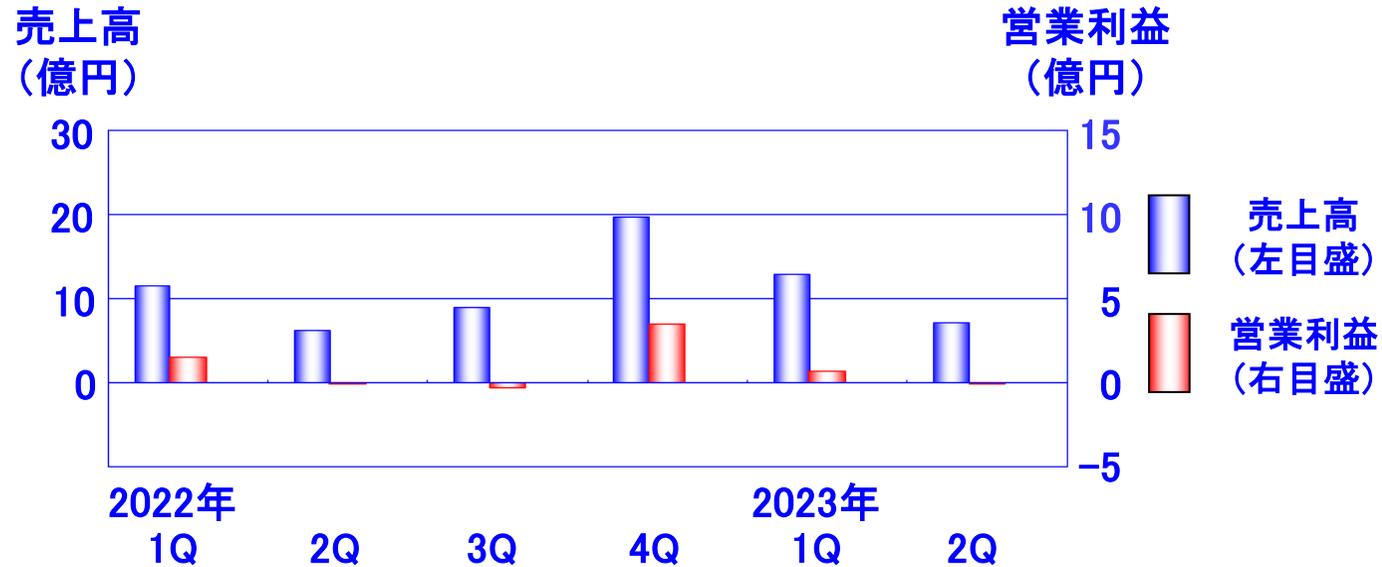
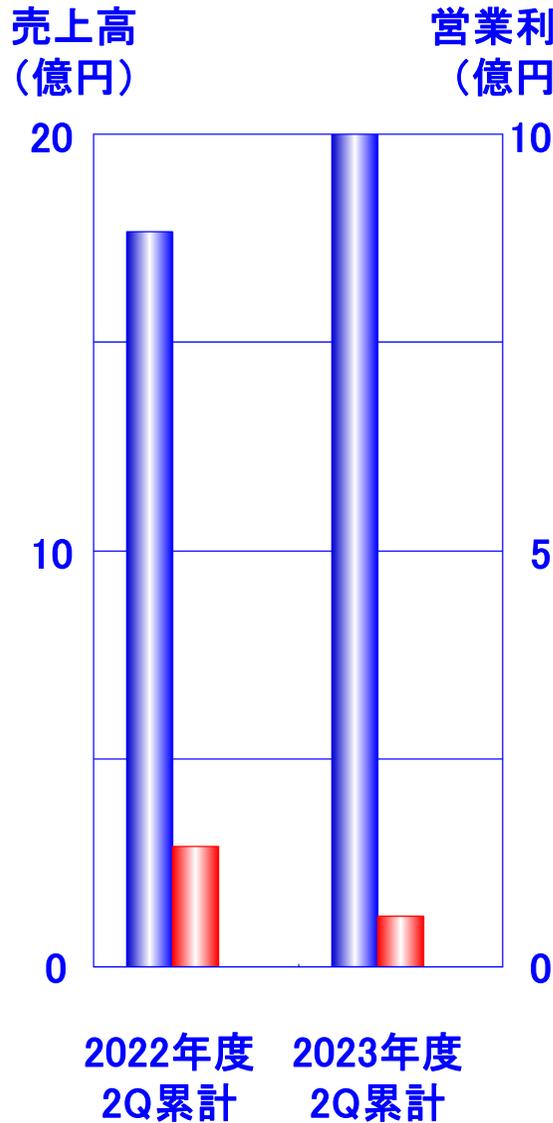
2022年度 2Q累計 2023年度 2Q累計

売上高 (億円) 営業利益 (億円)



過酸化水素及び誘導品(※) 過酸化水素は一部で需要減が見られるものの、原材料高騰分の価格転嫁を進めたことで前年同期並みに推移し、過炭酸ナトリウムは需要の回復並びに新規顧客の取り込みにより、増収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

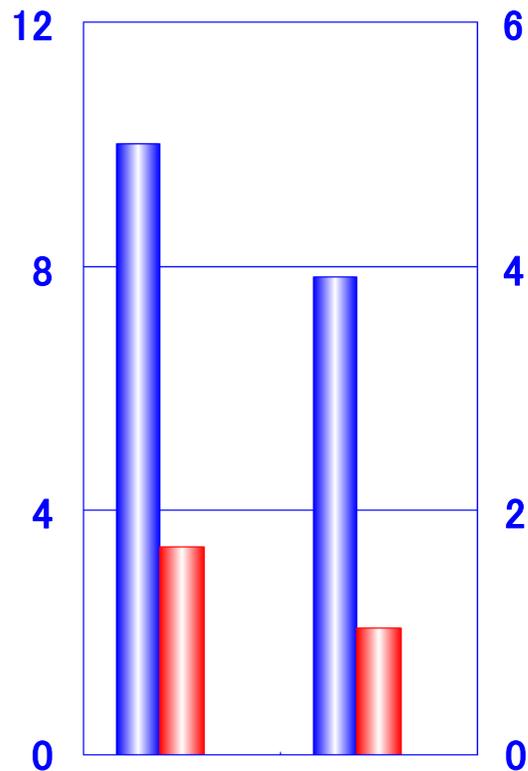
- 海外顧客の在庫調整に伴い大幅な輸出の減少が見られたものの、家庭園芸向け除草剤にて需要が回復。さらにゴルフ場および農耕地向け除草剤での需要好調により大幅な増収

売上高
(億円)

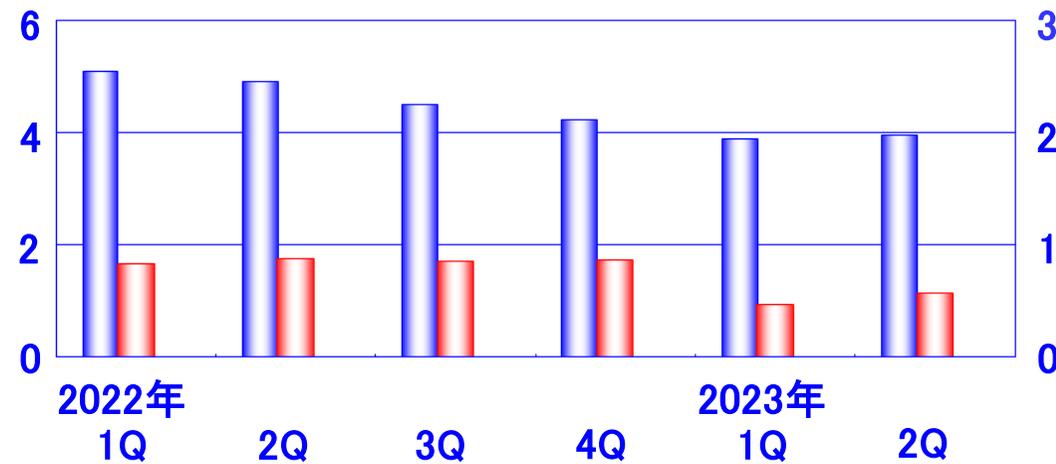
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2022年度 2Q累計 2023年度 2Q累計



売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

物流関連 ・輸出貨物の取り扱いにおいて、中国等での景気減速により大幅な減収

・連結業績予想(5月15日時点)と進捗率 (単位:百万円)

科 目	2023年度 業績予想	2023年度 第2四半期累計	進捗率
売 上 高	47,000	20,451	44%
営 業 利 益	3,900	1,245	32%
経 常 利 益	4,300	1,814	42%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,400	909	38%

- ・ 当事業年度は下期偏重で推移することを見込んでおります。
 下期では、一部製品の需要の回復や、原材料価格の上昇分の適切な値上げの浸透等により、売上高、利益の進捗率は改善する見込みであり、2023年5月15日に公表しました業績予想からの変更はありません。

・配当予想

年間配当：75円／株

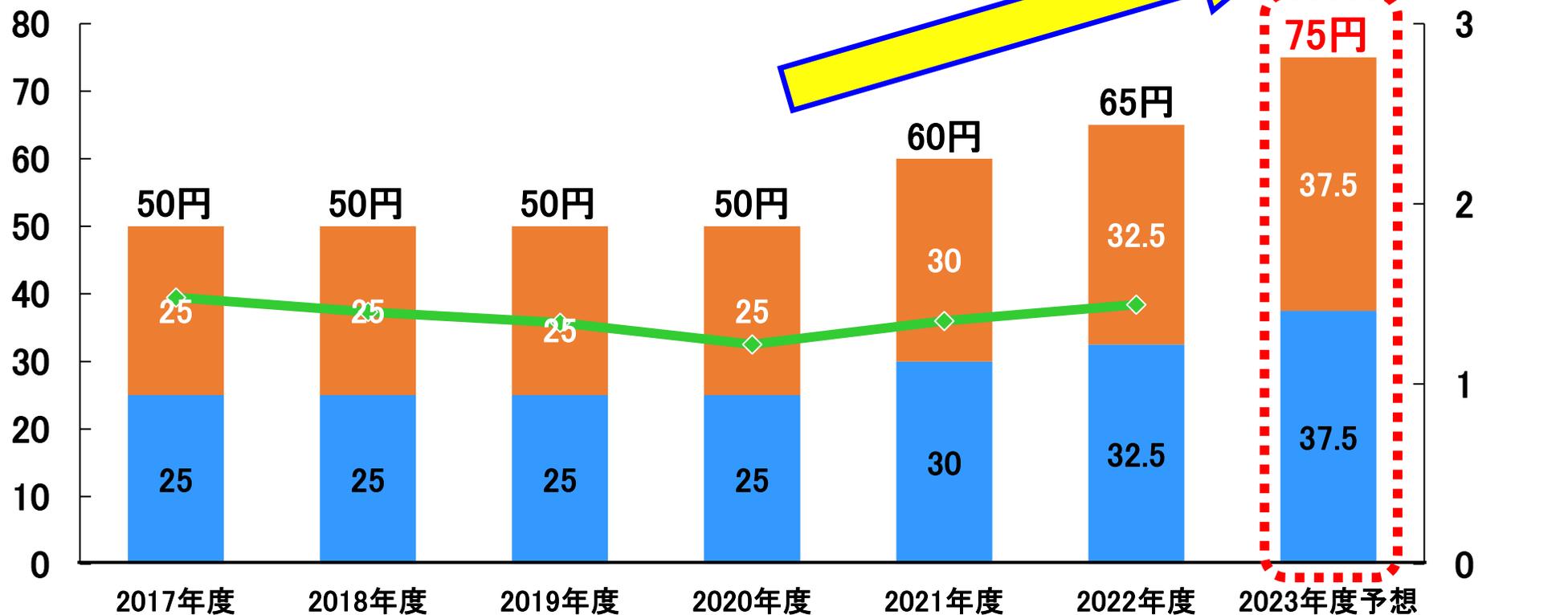
＜中間：37.5円／株、期末：37.5円／株＞

「ステークホルダーへの還元に関する方針」に基づき内部留保と株主の皆様への還元のバランスを適切に図ることとしております。

配当については、株主資本配当率(DOE)の向上を長期的な課題と捉え、且つ、安定的・継続的で適正な株主還元の実施を重視し、2023年度の配当については、2022年度比で年間10円／株の増配を予定しております。なお、中間配当については、37.5円／株で決定しております。

配当の推移

配当(円/株)



■ 中間 ■ 期末 ◆ DOE